

※2006年10月改訂(第2版)
2000年9月改訂

日本標準商品分類番号
872612
承認番号等 [61AM]1968
薬価収載 1966年7月
販売開始 1966年7月
再評価結果 1983年4月

貯法：遮光した気密容器

注意：取扱以上の注意の項参照

【禁忌】 (次の患者には使用しないこと)
ヨード過敏症の患者

【組成・性状】

1. 組成

本剤100mL中に下記の成分を含有する。

有効成分	日局 ヨウ素	6 g
添加物	日局 ヨウ化カリウム	4 g
	70vol% エタノール	適量

2. 製剤の性状

本剤は暗赤褐色の液で、特異なにおいがある。
比重 d₂₀ : 約0.97

【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
1. 皮膚表面の一般消毒 2. 創傷・潰瘍の殺菌・消毒 3. 歯肉及び口腔粘膜の消毒、 根管の消毒	本剤を5～10倍に希釈し、 1日2～3回患部及び皮膚 に適量塗布する。

GSI-RSS



JAN



キャップ:PP
ガラス:瓶



外用殺菌消毒剤
日本薬局方

劇薬

ヨードチンキ

Iodine Tincture
(ヨードチンキ「三恵」)

500ml

製造番号

使用期限

※製造販売元 **株式会社 三恵薬品**
愛知県豊橋市入船町21番地

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	0.1%未満	頻度不明
過敏症 [※]	ヨード疹等	—
皮膚 [※]	—	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には、
使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性
ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

3. 適用上の注意

(1) 投与経路 外用にのみ使用し、内服しないこと。
(2) 使用時

- 1) 眼に入らないよう注意すること。眼に入った
場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲
に使用しないこと。
- 3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注
射用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精
製水を用いないこと。
- 4) 同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥
離を伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるの
で注意すること。
- 5) 口腔内に使用するときは、患部を乾燥させて
塗布すること。

【取扱い上の注意】

配合変化：マーキュロクロム液とは沈殿を生じる。

火気厳禁

第二石油類
水溶性
危険等級Ⅲ